

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用又は他の研究機関への提供を希望されない場合は、下記の「本研究に関する当院の連絡先」にご連絡ください。
ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	医療用生成 AI および robotic process automation を用いた持参薬鑑別支援システムへの薬品名入力支援体制の構築とその評価
意義・目的	当院では、入院時に患者さんが普段使用されているお薬（持参薬）を確認し、必要な情報を院内システムへ入力しています。この入力作業を支援するため、生成 AI や RPA 等を用いた薬品名入力支援体制（以下、本支援体制）を構築しました。 本研究では、本支援体制が薬品名を正しく読み取り、入力を支援できるかを評価するとともに、従来の手入力と比較して薬品名入力に必要な作業時間を短縮できるかを検討します。 なお、生成 AI の結果は職員が確認したうえで使用しており、そのまま院内システムへ入力されることはありません。
研究期間	病院長許可日（利用開始日）2026 年 9 月 3 日～2026 年 12 月 31 日
対象患者	2026 年 8 月 1 日から 2026 年 8 月 31 日の期間に当院へ入院し、初回の持参薬鑑別を実施した患者さんのうち、持参薬鑑別支援システムへの入力対象となる他院処方薬が 1 剤以上ある方を対象とします。 ただし、手術予定などのため入院前に持参薬の入力が行われていた方や、初回の持参薬鑑別確定後の修正データ、同一入院期間中の 2 回目以降の持参薬鑑別データは対象としません。
研究内容	本研究では、2026年8月1日～2026年8月31日の通常診療・業務で取得・保存された既存の情報を使用します。本研究のために患者さんへ新たな検査、処置、投薬などを行うことはありません。 通常業務で本入力支援体制を使用した患者さんについて、お薬手帳や薬剤情報提供書等の保存画像、生成AIや院内システムによる処理結果などを用いて、薬品名入力支援の正確性を評価します。 また、一部の保存画像を用いて、実際の患者さんではなくシステム上のテスト患者へ入力し、従来の手入力と本入力支援体制による入力の作業時間を比較します。この測定により、実際の患者さんの診療情報が変更されることはありません。 生成AIへの入力には、当院が業務利用を承認した医療用生成AI環境を使用し、入力された情報はAIの学習には利用されません。
利用する試料・情報の項目	本研究では試料は使用せず、以下の情報を利用します。 ・ 患者 ID、入院日、持参薬鑑別実施日時などの患者さんに関する情報 ・ お薬手帳、薬剤情報提供書等の保存画像および記載された薬品名に関する情報 ・ 生成 AI や入力支援システムによる処理結果、職員による確認・修正に関する情報 ・ 薬品名入力に要した作業時間に関する情報 解析時には患者 ID を研究用の番号に置き換えて管理し、研究成果を公表する際に患者さん個人を特定できる情報は使用しません。

試料・情報の他機関 への提供有無	☐ あり（ ☐ 国内 ☐ 海外 ） ☒ なし
研究組織	研究代表機関：機関名および研究責任者名 島根県立中央病院 金澤 旭宣 共同研究機関：機関名および研究責任者名 該当なし 試料・情報提供を行う機関：機関名および施設長名 該当なし
本研究に関する当院 の連絡先	研究責任者： 島根県立中央病院 医療技術局 ・生成 AI 導入検討 WG 金澤 旭宣 電話：0853-22-5111（代表） 事務担当： 島根県立中央病院 臨床研究・治験管理室 電話：0853-30-6590（直通）
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。 URL： https://www.spch.izumo.shimane.jp/privacy
結果の公表	研究の結果は，学会発表および論文として公表する予定です。
備考	